

91. 主に岩手県内を中心とした鉄筋コンクリート構造物の被災調査

(調査・研究)

実施時期又は期間

平成23年3月～平成23年11月

対応部局及び人員

理工学研究科 教員2名，他大学 教員4名

実施の背景・目的

(公社)土木学会の依頼により，地震工学・構造工学の専門家を派遣して岩手県内で被災したコンクリート構造物を調査し，その主たる原因について検討した。

実施概要

地震動だけで被害を受けた一般国道・県道・新幹線のコンクリート構造物については，平成23年3月から4月に調査を実施した。

また平成23年9月から11月に沿岸部で津波により被災した一般国道・鉄道のコンクリート構造物について調査を行った。

効果又は結果

土木学会が主催した調査報告会にて調査内容が報告され，被害の状況がマスコミを通じて一般に周知された。

今後の課題

数値解析により被災状況を再現することが今後の課題であり，現在も継続して取り組んでいる。

担当部局名

理工学研究科

その他参考となる事項

調査内容の一部は，土木学会のホームページで公開されている。

<http://www.jsce.or.jp/committee/concrete/IREPORT.html>



岩手県野田村内の県道橋梁の落橋



三陸鉄道の駅舎と高架橋の流出